

令和4年度 自己評価報告書

令和 5年 4月 1日

太田東保育園

1. 本園の教育・保育理念、教育・保育目標

『教育・保育理念』

「信（信仰・信念）・誠（誠意・責任感）・敬（尊敬・人権尊重）・愛（慈悲・愛情）」を四眼目とした保育を行う。

すべての子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、愛護するとともに最善の利益を守り、子育ての負担感の緩和を図り安心して子育て子育てができる環境を整える。

『教育・保育目標』

生命の安全を守れる基本的な習慣を身につける

「つよいからだ」「やさしいきもち」「すなおなこころ」

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

『目標』

自園の教育・保育理念、教育・保育目標を全職員が理解する。

活発な意見交換をし、質の高い教育・保育を目指す。

『計画』

- ・“太田東保育園の職員像” を常に意識しながら職にあたる。
“柔軟な考え” “考動” を実践する。
- ・園内研修、外部研修の充実を図る。
- ・各マニュアルの見直しをする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育・保育理念、教育・保育目標の理解のための園内研修	B	年度の始めの職員勉強会で“太田東保育園の職員像”を読み合わせ再確認し共通理解を図る。年度末には一人一人が“太田東保育園の職員像”について評価し振り返る。それをもとに主幹保育教諭との面談を行った。
2	教育・保育の質の向上のため	A	4月“太田東保育園の職員像”

	めの園内研修		<p>6・9月 “群馬県幼稚園教育課程等研究協議会「幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進に向けて」”</p> <p>9月 “「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の捉え方” 事例を交えて話し合い。</p> <p>研修後の振り返り</p> <p>11月 “嘔吐等汚れ物処理について”</p> <p>“主体的な保育について”</p> <p>活発な意見交換を行った。</p>
3	マニュアルの見直し	B	運営や教育・保育に沿うようにマニュアルを見直した。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> * コロナ禍の為に zoom 等の研修が多かったが外部研修も受け全職員で情報を共有することができた。 * 園内研修にて『「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の捉え方』の事例を交えて行ったグループごとの話し合いが充実していた。また、研修会後の振り返りによって更に勉強になった。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	研修・研究	主体的なかわりについて勉強会を重ね、外部講師を招いて更なる質の向上に努め職員同士で情報を共有する。
2	マニュアルの見直し・作成	作成したマニュアルを見直し、より使いやすいものにしていく。

6. 財務状況

県・市の指導監査により、適正に運営されていると認められている。